

No.3

下野市立石橋中学校



校長室だより

目指す学校像

『未来を、たくましく生き抜ける生徒』の育成
キーワード「自立・貢献・創造」

スローガン

～生徒も先生も、自ら輝く学校～

令和3年5月10日（月）

発行者 田熊 利光

古池や蛙飛びこむ水の音

松尾芭蕉

芭蕉の有名な俳句です。この句は蕉風開眼の句と言われ、今までの言葉遊び的な俳諧を芸術の域に高めたと言われています。そこで私から生徒の皆さんに問題です。今までの俳諧とこの句は、いったいどこが違うのでしょうか。直訳したら、「古池だなあー。その古池に蛙が飛び込む水の音がしたよ。」というだけの意味ですが・・・3年生の皆さんは、これから『奥の細道』で深く学ぶと思います。奥深い芸術の世界を愉しみ、そして深く味わいましょう。

【テレビ放送による生徒総会】

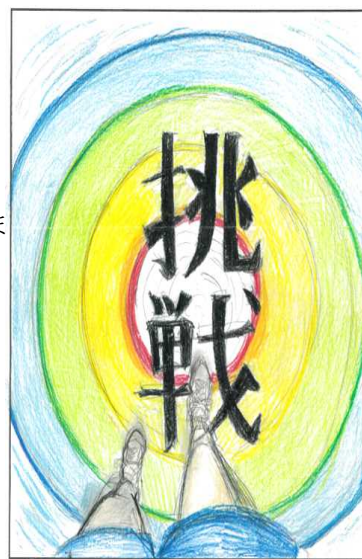
4月27日（火）生徒総会をテレビ放送で行いました。生徒会長から、本年度の生徒会スローガン「挑戦」に決定したことが発表されました。生徒会長から次のような話がありました。

「このポスターは二つの意味が込められているのです。まず、一つ目、この足に注目してください。この足は一步踏み出そうとしている足です。勇気をもって一步踏み出すことの価値を示しています。まさにコロナ禍でも負けずに挑戦することの価値をこの一步が示してくれているのです。二つ目に、この何重もの円を見てください。これが何を意味しているか分かりますか。これは水の波紋を表しています。一步踏み出せばこの波紋のようにできることがどんどん広がっていきます。また、一人が踏み出した価値ある一步を石中の仲間たちは決して無駄にしません！！頑張って踏み出した一步は必ず仲間の胸に届き、一緒に頑張ってくれる仲間の輪も広がって行くのです！4月に新たなクラスが始まってからも、クラスのために頑張る人、学校のために頑張る人が作りだした〈貢献の波紋〉は、確実にクラスや学校で頑張る仲間の輪を広げているはずですよ。さらには創造も広がっていきます。創造的な活動をするためには、一緒に頑張る仲間が必要です。この素晴らしい仲間と共に石中の新たな価値観や伝統を創造していくのです！私たちが新たな石中を作るのです！このように、石中生徒一人一人が勇気を出した一步で沢山のことが広がり、変わっていくのです。」

素晴らしい内容です。特に「貢献の波紋」は新たな石中の価値語にしたいと思います。是非、石中生の「創造への挑戦」が地域、栃木県、全国へと波紋のように広がることを期待しています。まずは足下から始めましょう。凡事徹底による感動の波紋が地域に広まるといいと思います。最近、地域の方から、「石中生が登下校時に元気よく挨拶してくれるので元気をもらっています。今日も一日頑張ろうという気持ちになります。」という嬉しい話を聞くようになりました。挨拶も地域の方への貢献です。挨拶による地域貢献の波紋を広げましょう。

人類の歴史は失敗の歴史です。先人たちのたくさんの挑戦と失敗があり、失敗から様々なことを学んだ結果、「今」があるのです。先生たちも皆さんの挑戦を全力でサポートします。仲間も応援してくれるはずですよ。挑戦しなければ失敗はありませんが、その代わりに我々が望む進歩も成功ありません。石中生の皆さん失敗を恐れず挑戦しましょう！

また、各委員会の委員長さんから、活動目標と活動内容の発表がありました。確実に実行して石中生の生活力向上に貢献してください。



各委員会の「貢献」と新たな活動の「創造」に期待しています。一年間、全力で頑張らしましょう！

部活動「自立型人間」の育成。個人やチームの目標を掲げそれを形にしよう！

地区大会の結果

地区大会が終わりました。どの部も全力で大会に臨むことができました。今回の地区大会での経験（負けから学んだこと）を、次の県大会・夏の地区総体・県総体に生かしましょう。日曜日、教頭先生と一緒に女子バスケットボール部の決勝戦を応援しました。最後まで諦めない姿に女子バスケットボール部の合言葉「**夢一路**」が現実になってきたと感じました。みんなで同じ思いを共有して、みんなで同じ夢の一本路をまっしぐらに突き進んでください。きっと夢は叶うはずです。他の部のみなさんも、本当の勝負は夏。最後まで諦めずに、チーム全員の心を一つにして自分たちの目標を達成しましょう！